



かしわの

No 503 (11月号)
令和4年 10月28日
調布市立柏野小学校
校長 浅野 正臣

<http://www.chofu-schools.jp/kasiwano-sho> mail:kasiwano-sho@chofu-schools.jp

遠足・集団宿泊行事の底力

校長 浅野 正臣

学校には様々な教育活動があります。その中で「遠足・集団宿泊的行事」は、「自然の中での集団宿泊活動などの平素と異なる生活環境にあつて、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、よりよい人間関係を築くなどの集団生活の在り方や公衆道徳などについてと体験を積むことができるようにすること」を目標としています。

この活動の特徴の一つは、「平素と異なる生活環境」での活動だということです。昨年度までの2年間は、感染予防のため活動が中止されたり、制限されたりしていましたが、今年度は、全学年が遠足・集団宿泊的行事を実施することができました。その中で児童が見せた力のいくつかをご紹介します。

○ 初めての交通公共機関を使って・・・

電車に乗って出かけるのが初めてだった3年生。駅の入り口に着いて時間まで待っていることや、ホームへ行く時にエレベーターやエスカレーターを使わないこと、順番に電車に乗り込むこと、すべてが初めてでしたが、とても静かに行動しました。また、車内でも、ほとんど話し声は聞こえませんでした。

○ 時間をゆっくり使った活動の中で・・・

1～4年生の遠足は、原っぱで過ごす時間がありました。ある学年は学年レクを行い、ある学年は友達と思い思いの時間を過ごしました。30分を越えて、活動し続けることは、子ども達にとっても新鮮だったようです。時間が経つにつれ、少しずつ行動範囲が広がっていくのを見ているの

も楽しかったです。

高学年の宿泊では、部屋ごとに友達と過ごしている時間がありました。トランプや他のカードゲームをにこやかに楽しんでいる様子は、よりよい人間関係をつくっていくことにつながります。ここでも30分を越える活動が見られました。

○ 5分前行動

宿泊行事では、計画に沿って活動が進んでいきますが、ここで大切なのが予定時刻に活動を始めることです。普段ではなかなか意識できないことですが、宿泊行事になると意識が高まります。そのおかげで、移動教室は予定通りに実施することができました。

「遠足・集団宿泊的行事」は、私達教員にとってもいつもと違う子ども達の様子を改めて知る機会になります。学校生活の中では、静かにすることや時間通りに活動することが難しい子どもが、そういう場では、当たり前のように活動する様子が見られたり、友達のことを気にかけて友達のために行動する様子も見られたりします。これこそが「遠足・集団宿泊的行事」がもつ力だと感じています。私は、「平素と異なる環境」で活動することが子ども達にとっていかに刺激的であり、その中での様々な経験が「普段の生活」に生かされることを実感しています。

11月は、かしわの発表会(舞台)があります。子ども達が、「普段の生活」に培った力を「平素とは異なる環境」で発揮する様子を是非ご覧ください。